

会 議 録		令和8年2月22日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府上京警察署協議会（令和7年度第4回）		
開催日	令和8年2月19日（木曜日）		
時 間	午後2時から午後3時20分までの間（80分）		
場 所	京都府上京警察署 講堂		
出席者	坂本会長、栗原副会長、出嶋委員、瀬野委員、谷本委員、森本委員、清水委員 （欠席 吉田委員、安藤委員） 計7人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、交通課長、警備課長 広聴相談係長 計8人		
諮 問 事 項	1 令和7年中の治安情勢について 2 ネット安心アドバイザーによるネットトラブル対策講座		
会 議 内 容	<p>1 署長挨拶 司会 副署長</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 協議 司会 会長</p> <p>(1) 諮問事項説明 令和7年中の治安情勢について ア 令和7年中の犯罪情勢～生活安全課長 イ 令和7年中の交通事故状況～交通課長</p> <p>【委員】上京税務署にも特殊詐欺の電話がかかってくる。「あなたの電話が2時間後に止まる。」という内容であった。こういうのはあちこちにかかっているのだなあと感じている。警察官の画像を見せるものもあった。当職員は仕事柄警戒心の高い者が多いため大丈夫だろうと思っている。しかし、若い職員もいるため注意喚起を怠らないようにしなければならないと思った。</p> <p>【委員】私は今回警察官が手帳を見せる画像を初めて見た。今回の説明で警察官がSNSで連絡することはないと教えてもらったが、私も含めて大学生のようにSNSを常に使っている者からすれば、いざ自分になったときは驚いてしまい咄嗟に正しい判断ができなくなってだまされてしまうのではないかと感じる。「知らない」という部分につけこまれている。</p> <p>ヘルメット着用に関して、事故で裁判になった時の話を聞き、納得した。今後は防衛意識を高める意味も込めて着用する。</p> <p>【委員】現役の保護司の立場で言うと、以前ネット犯罪を犯した人物の保護観察を</p>		

行った。

原因を聞くと「お金が欲しかった。その時旨い話を持ちかけられた。」と話していた。今どきのもうけ話の類に入っているのであれば、この種の犯罪がなくなることはないであろうと感じた。この者らに対する更生が課題であると考えている。交通に関しては、最近、あおり運転行為をよく見掛ける。常々その対応について考えているものの、いざとなったら対応できるのかどうか不安に感じている。

【委員】民生委員をしているが、ウィルス感染のメールで誘われ、高額のお金を振り込もうとしている高齢者をコンビニエンスストアの店員さんが止めてくれ、警察に通報してくれて難を逃れたという話を聞いた。店員さんによれば、警察が常々啓発のチラシを持ってきてくれていたため頭に入っていたとのことであった。地道な啓発活動が功を奏したと感じた。私たちが継続的に活動しなければならぬと感じた。

交通に関しては、4月からの自転車に対する交通違反には関心が高い。パンフレットなどの資料を希望したい。

【警察】資料は用意してあるのでいつでも連絡していただきたい。

【委員】区役所にもよく電話がかかり、自動音声のものもある。そのため誘導の電話があることは身近に感じている。最近のメールはおかしな日本語の文章は少なくなっており、手口も巧妙化していることから偽物だと気付くのに時間がかかるように感じる。4月には区民新聞に上京署の協力を得て進学時の子供を対象にスマートフォンに対する警戒啓発記事を載せることになっている。

子供たちが被害に遭わないように、また闇バイトへ進んでいかないように日々の警戒を続けていきたい。

4月からの自転車取締りについても問い合わせが多く、資料を渡すなどして対応している。区民の関心の高さを実感している。

【委員】私も民生委員であるが高齢者から「怖い電話がかかってきた。すぐ来てほしい。」と言われ、話を聞きに行った。その方は電話を聞いただけで犯罪に巻き込まれたのではないかと大きな不安に駆られていた。

今後は今回聞いた話をしっかりと伝えて少しでも不安を解消してあげたいと思う。

## (2) 諮問事項説明

ネット安心アドバイザーによるネットトラブル対策講座

～ネット安心アドバイザー講師

【委員】今回のように説明を受けながら実習すると理解できるが、いざ自分一人になれば被害に遭った人と同じように対応してしまうだろうと思う。「失敗」という単語に焦ってしまうことがよく分かった。今後は気を付けようと思う。

【委員】相手をだます方法は何種類もあるのだと分かった。SNSなどの普段使っている身近な場でも落とし穴はあるのだと分かった。

【委員】私の印象として偽メールはキャリアメールに多いと感じている。私の場合、

会 議  
内 容

アドレス帳に載っていないメールは「迷惑メール」として選別されるため、その観点でメールを扱うが、高齢者の方はそのようなことができず、加えてすぐに慌ててしまうのがほとんどで、高齢者に対する教養の必要性を感じた。

【委員】以前、普通に使っていたクレジットカードが突然利用ができなくなった。確認すると、海外からの請求があったことからカード会社が取引を中止したとのことであった。お陰で金銭被害を逃れることができた。感謝している。

【委員】以前に佐川急便をかたるメールが来たことがある。同種のものだと今回分かった。講師の先生を含め、警察でこの種メールにだまされないように啓発を行っていることに感謝している。

本日署長が、仮想空間の取締りはなかなか手をつけられないと話しておられたが、税務署でもキャッシュレスによる納税を加速させようとしているが、高齢者の方は現金を信用する傾向があり仮想空間を不安視されている。仕方のないことではある。

その中で、私たちの取組と先生の啓発が浸透し、結果としてキャッシュレスにつながれば良いかと考えている。

【警察】今後キャッシュレス化は進んでいく。今回の話は「怖いからやめましょう。」ではない。正しく知って賢く使うということが大切である。

以上

## 第4回京都府上京警察署協議会の開催状況

